

平成28年第6回栗原市教育委員会定例会会議録

1. 招集日時 平成28年6月29日(金) 午後1時30分

2. 招集場所 栗原市金成庁舎2階 201会議室

3. 出席委員

1番	笠間 八十公 委員	2番	佐々木 一彦 委員
3番	亀井 芳光 委員	4番	白鳥 正文 委員
5番	千葉 みどり 委員		

4. 説明のため出席した者

部長	佐藤 義郎
次長	鹿野 有三
次長	小野寺 一浩
教育総務課長	白鳥 嘉浩
学校教育課長	加藤 栄悦
学校教育課副参事	高橋 伸
学校教育課副参事	菅原 信行
社会教育課長	菅原 良昭
文化財保護課長	高橋 久悦

5. 本委員会の書記は次のとおりである

教育総務課長補佐 白鳥 明美

6. 開 会

午後1時30分

教育総務課長 ただいまから平成28年第6回栗原市教育委員会定例会を開会いたします。
一同礼。 御着席願います。

本日は、委員5名の出席でございます。それでは開会の挨拶を教育委員長よりいただき、その後、教育委員長の進行のもとに進めていただきますので、よろしく願います。

7. あいさつ

佐々木委員長 東北地方の今年の梅雨入りは、平年より1日遅い6月13日でした。東北南部の梅雨明けは、平年並みだと7月25日頃になるということです。この時期になると毎年、夏告げ鳥と言われるホトトギスの鳴き声が自宅周辺でも聞かれます。今年は2週間程前に初めて聞きました。「薄墨を流した空や時鳥」という小林一茶の句がありますが、あの独特の鳴き声は、曇天にも梅雨の合間の晴れ間にも妙に合うから不思議です。これから梅雨明けまでの1ヶ月余りを体調管理に留意して過ごしていきたいと思えます。

今月に入り、市中学校総合体育大会、市小学生陸上競技大会、市中学校陸上競技大会、同水泳大会が連続して開催されました。開会式をテント内で行った大会もありましたが、どの大会も子どもたちが力を精一杯出して競い合う姿には、清々しさが感じられました。競技審判始め大会にご協力をいただいた皆様に感謝を申し上げる次第です。

先週の土曜日にNHKのテレビ放送「民謡魂」を見ました。栗原市で先月15日に公開収録したものです。「名峰・栗駒山を望み、渡り鳥が飛来することで知られる栗原市は、日本有数の米所。しかし、かつては、周辺の川がしばしば氾濫、稲作など到底考えられない不毛の地だった。それが紆余曲折を経て豊穡の地へと変遷していったのです。」というようなナレーションで始まり、豊年万作等の民謡と舞踊の音楽劇で紹介されました。司会のTOKIO城島茂さんが、米農家を訪ねて取材した田植えの労をねぎらう餅つきの映像等もあった45分間は、栗原の風土性が濃く感じられたいい時間でした。

さて、8月5日から17日間に亘って行われるリオデジャネイロオリンピックが近付いてきました。各競技の参加選手が決定される中、栗原市出身の秋山輝吉さんと三橋亜記さんが、同五輪日本代表になったことは、とても素晴らしいことであり、おめでたいことです。栗原市に元気をもらい、また、子どもたちに夢を与えてくれました。

秋山さんは、栗駒中、岩ヶ崎高校卒業で宮城県警に勤務、射撃男子ラビットファイアピストルに出場ということで、先日、母校岩校で壮行会が行われました。

三橋亜記さんは、築館中でホッケーを始め、築中が全国制覇した時の中心選手。ロンドン五輪でもスピードのあるFWとして活躍しました。先日の代表チームサクラジャパンの国際試合でも見事なゴールを決めました。お二人のご活躍を応援したいと思います。

話題は変わりますが、過日、佐賀県の高校が管理するシステムに少年が不法に侵入し、生徒の個人情報が多量流出した事件がありました。佐賀県は教育の情報通信技術で全国先駆けとなっていて、文部科学省が教育のICT化の実証地域として指定しています。生徒の情報活用能力向上や教員の業務の効率化などのためICT化が強く推進される中、少年が友達に自慢したいためのいたずら半分の行為によってあっけなくセキュリティが突破されてしまいました。情報管理体制の脆弱さがさらけ出される形になり、危機感が高まっています。技術が日々進化する中の高いセキュリティー意識、安全意識の確立、浸透が改めて問われています。

少し前には、東京都の中学校保健体育科の教員が、学習指導要領で中学3年間で48時間程度履修することが定められている保健の指導を全く行わずに、体育の実技に充てていた事例がありました。それが、10年間も見逃されてきたことは信じられないことです。教育課程のチェック機能は、多数にあります。同校の体育科同僚教員は実態をつぶさに見ていますし、校内には教育課程の時数や内容を管理する教務主任等の担当者も配置していて少なくとも月に1回は点検しています。校長、教頭の職務で最も大切な職務の一つが教育課程の適法な実施の管理です。また、県教育委員会等には、学校訪問によりそれらを点検、指導する体制も整備されています。それらがひとつも有効に機能せずに長期間に亘って見逃されてきたことは想定できなかったことです。

一頃、義務教育学校で道徳の実施時数が標準に満たない所が全国的に見られるということで、文科省が一斉に調査したことがありました。今回は、公立学校1校のことですが、しかしこのような暗然とする事実が実際にあったこと、長期間続けられていたことは、個人の意識の持ち方や組織としての在り方、外部機関の存在意義を含めて、関係者に大きな警鐘を鳴らしているのとらえなければなりません。

本日の議事審議、各課所管事業の検討についてよろしくお願いいたします。

8. 前回教育委員会会議録の承認

佐々木委員長　それでは、日程1、前回教育委員会会議録の承認について、お諮りします。事務局に内容の

説明を求めます。

事務局 平成28年5月20日、本会場において開催されました平成28年第5回栗原市教育委員会定例会でございますが、ご審議いただいた議案は「議案第36号 栗原市奨学生選考委員会委員の人事について」を含む6議案でございますが、全て承認可決されました。

以上でございます。

佐々木委員長 説明が終わりました。この内容について、ご質問等はございませんか。

「なし」の声あり

佐々木委員長 ご異議なしと認め、前回教育委員会会議録は説明のとおり承認することとします。

9. 教育委員会会議録署名委員の指名

佐々木委員長 日程2、教育委員会会議録署名委員の指名を行います。

例により議長から指名します。

1番の笠間委員と3番の亀井委員をお願いいたします。

10. 教育長報告

佐々木委員長 日程3、教育長報告を行います。

教育長から報告をお願いします。

亀井教育長 私のほうから一般事務報告をさせていただきます。5月定例会以降の、私に対応した行事は別紙資料がございますのでご覧いただきたいと思っております。その中で、いくつかのことを列記させていただきましたが、まず、6月1日に総合教育会議がございまして、委員さん方から様々な貴重なご提言等いただきましたことを感謝申し上げます。今後の教育行政、或いは学校教育活動の推進に役立てていきたいと思っております。

次に、栗原市学校教育連絡協議会という会議、これは前にも説明しましたが、小学校では校長会長、副会長、中学校は校長全員、市内の高校の校長全員が集まった会議で、これに教育事務所が入る会議でございます。その中で、市内中学校の進路状況ということで、別紙資料がありますので、ご覧いただきたいと思っております。これを見ますと、昨年度は市内の高校に入る子が卒業生の内66パーセントくらいでした。今年は69パーセントと、若干増えたようでありますが、200人近くの子どもが他の地区に進学しているという現状でございます。各高校、一生懸命やっているわけですが、この状況が何年か続いている現状でありまして、地元の子は地元で育てるということで頑張るように、お互い決意を新たにしました会議でもありました。もうひとつは、栗原地区中学校・高等学校合同学習合宿が昨年度から始まったわけですが、今年もやるということで、12月25日から27日までの日程で、花山青少年自然の家を使って行うということが確認されたところでありまして。なお、昨年度は、中学校の学府くりはら塾を別にやって、2回参加するということがありましたので、今年は1本で中学生、高校生を対象にするということになりましたので、お知らせしておきます。

次に、これは後で担当に説明させますが、アレルギー食対応検討委員会を作っておりまして、子どもたちのアレルギーへの対応ということで、安全第一ということをお前提として、原因物質を提供するか、しないかの二者択一式での方向性を考えているところでございます。まだ決定しているわけではございません。この後、学校給食センター運営審議会や保護者等への説明を通して、その意見を聞きながら、審議会で決定し、最終的には教育委員会でご承認いただくという形で進めていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。なお、もしこの方法で

いくとなれば、8月、夏休み明けの給食提供から始まることになります。

次に、教科書採択ですが、今年は、9条本と言いまして、特別支援学級使用の教科用図書であります。なお、教育委員さん方による閲覧会を7月13日の午後に予定しています。この日の午前中につきましては、築館中学校を会場とした「少年の主張栗原大会」がありますので、そちらのほうにご出席いただき、そして、午後これに参加していただくという形になりますので、よろしくお願ひいたします。

次に、市いじめ防止対策調査委員会の立ち上げであります。これは、第三者機関であります。平成26年の12月にあの痛ましい事故がありまして、それにつきましては一応の結論を得たところではありますが、今年度また新たな形で、事故が起ころうが、起こるまいが、教育委員会として立ち上げておく必要があることから、設置する委員会ございまして、7月2日に1回目を行います。構成メンバーは、弁護士やお医者さん、カウンセラー等、そういう方々で組織する会であります。

それから、定例議会が終わりました。かなりの数の一般質問がございました。どういう質問が出たのか資料がありますので、後でご覧いただきたいと思ひます。

次に、スポーツパーク基本構想に関するアンケート結果と市の対応でございますが、既に新聞等でご承知のことと思ひますが、6500人を対象としたアンケートで、回収率は40数パーセントでしたが、その中で反対が55パーセント、賛成が43パーセント位ということで、結果として反対が50パーセントを超えたということから、取り下げるということで、このスポーツパーク構想につきましては白紙に戻ったということになりますのでお知らせしておきます。なお、今後の対応につきましては、今のところまだ未定であります。

次に、夏休み間近になってきました。ここに、在籍や不登校の現状を書きましたので、ご覧いただきたいと思ひます。事故や怪我の状況でございますが、幼稚園や小学校低学年では転倒して転んで骨折というのが非常に多いようであります。それから、中学校では、家出というのがございましたが、事なきを得たので、良かったなと思っております。教職員に関しましては、6月24日に若柳中学校の現職の加藤弘美先生が病気でご逝去なされました。心からご冥福をお祈り申し上げる次第でございます。教職員の健康管理、長時間勤務等については、これからも十分配慮するよう指導してまいりたいと思ひます。それから、駐車場内での加害事故が多いということでもあります。そういう面で、もうちょっと注意していかねければと思ひます。

それから、今年は例年になくクマの目撃が多いので、チラシを作りまして学校に配布をして、遭遇した場合とか、遭遇しないようにということで注意喚起を指示しているところでもあります。

それから、部活動等における熱中症の予防ですが、この辺につきましても、今度、県中学校総合体育大会が7月22日から25日にあります。市内で行われるのが、野球、卓球、ホッケー、相撲の4種目であります。なお、夏休み明けの8月31日には市中学校駅伝競走大会があります。ハーフコースを走るようになりますので熱中症に十分気をつけさせたいと思ひます。

次に、夏休み中の主な事業といたしましては、ここに記載のとおりであります。このほかに、栗駒高原高等学校陸上競技選手権大会が県中総体と重なりまして、23・24日の土・日に渡って築館陸上競技場で開催される運びになります。最終的な参加人数は、これまでの最高の51校が参加します。宮城・岩手県南の高校になりますが、885名の選手が参加します。中学校の野球会場も築館球場になるので、多少だぶって、駐車場等の問題があるので、その辺調整させているところでもあります。

その他といたしまして、ここに列記したとおりであります。7月15日の東北六縣市町村

教育委員会協議会研修会の出席よろしくお願いたします。また、教育委員による学校訪問・施設訪問ですが、今日1回目を行いました、やはりこちらからもっと訪問する必要があると思っていますので、その他希望がありましたら、是非お話ししていただきたいと思ひます。それから、今、あやめ祭り、ゆり園が開園しております。先日の新聞にドローンで撮ったゆり園のすばらしい写真が載っていましたが、是非行って見ていただければと思ひます。

さらに付け足しになります。例年行っております市政懇談会があります。市長、副市長、私、部長等が参加して、市政のあり方について意見交換する場であります。旧町村1か所ずつ10か所で行いますが、7月13日から7月28日までの間で行われます。委員さん方のご家庭にも日程が配布されると思ひますので、是非参加していただければと思ひます。そのほか、ご紹介であります、「若柳の方言」という本があります。これは、柳徳寺の和尚さんが自分で書いた本でありまして、若柳に伝わる方言を列挙した本であります。これを100冊、市内の小中学校、図書館にということで寄贈いただきましたので、ご紹介申し上げます。

私からは以上でございます。

佐々木委員長
白鳥委員

只今の一般事務報告についてのご質問はございませんか。

クマの出没が多くて、先日は町中にも出たということで、大変危険だと思ひます。対策として、交通安全のほうでは見守り隊の協力をもらっている学校もあるようですが、登下校の安全対策を考えていかなければならないと思ひますが、どのように考えていますか。

佐藤部長

これにつきましては、今委員がおっしゃるとおり町中に出たということもあります。この件につきましては、夜間で行いましたが学校とも連絡を取って、保護者の送迎をまずお願いしました。最終的には捕獲をしないとだめですが、ただ、町の中なので、なかなか捕獲も難しいということもあります。まずは保護者の送迎、或いは各学校の先生方による見守り等で対応しておりますが、いずれ、産業経済部のほうとも情報交換しまして、万全を期したいと考えております。

亀井教育長

あとは、ランドセルに鈴をつけるだとか、1人で帰らず集団行動する等、それらも併せて指導しているところであります。

佐々木委員長

他に質問ございますか。

「なし」の声あり

佐々木委員長

ないようですので、日程3、教育長報告を終わります。

1 1. 専決処分報告

1 2. 議事

佐々木委員長

お諮りします。人事案件及び個人情報であります、日程4、専決処分報告(1)栗原市教育委員会職員の人事について及び日程5、議案第42号栗原市就学指導委員会委員の人事についてから日程8、議案第45号栗原市立学校の職員の人事についてまでを秘密会とし、先に、専決処分報告(2)平成28年第2回栗原市議会定例会に提案する教育関係議案に対する意見についてを上程してよろしいですか。

「異議なし」の声あり

佐々木委員長

内容の説明を求めます。教育総務課長。

教育総務課長

議案書2ページをご覧ください。平成28年第2回栗原市議会定例会に提案する教育関係議案に対する意見について説明します。

本案件につきまして市長から意見を求められ、異議がない旨専決処分しましたので、報告い

たします。別冊の専決処分報告説明資料（２）①をご覧ください。報告第１号「平成２７年度栗原市一般会計繰越明許費繰越計算書について」、承認第３号「専決処分の承認を求めることについて（平成２７年度栗原市一般会計補正予算第８号）」、議案第５６号「平成２８年度栗原市一般会計補正予算（第１号）」、議案第６６号「栗原市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例について」、議案第６７号「栗原市放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例について」以上の案件でございます。資料②、③は補正予算に関する資料ですので、ご覧ください。

以上、よろしくお願ひ申し上げます。

佐々木委員長

ただいまの説明に質問ございませんか。

「なし」の声あり

佐々木委員長

ないようですので、只今からの案件は秘密会とします。

13. その他

(1) 各課報告

佐々木委員長

本日の日程が終了しましたので、これより各課報告事項に入ります。学校教育課長。

学校教育課長

定例会資料の６ページをご覧ください。平成２８年度第６１回栗原市中学校総合体育大会成績一覧表です。６月４日、５日の日程で開催されました。７、８ページは第６７回栗原市中学校陸上競技大会成績一覧表です。６月１６日に開催されました。９、１０ページは６１回栗原市中学校水泳競技大会成績一覧表です。６月２２日に開催されました。それぞれの種目の上位入賞については記載のとおりであります。

次に資料１１ページです。栗駒・志波姫地区幼保一体施設見学会です。今回は、地域住民の方を対象に開催するものでございます。見学会については７月３日の午前１０時から正午までということで、施設の休園日にあたります日曜日に行くことといたしました。対応につきましては、市民生活部と教育部の共催ということで、教育部は栗駒幼稚園を担当します。

次に１２ページをご覧ください。北部学校給食センター内覧会についてです。議会議員さん始め、各種団体の方々に対する見学会であります。学校給食センター運営審議会委員の皆さんにつきましては、審議会終了後の７月６日の予定でございます。市議会議員の方々は７月１３日、アレルギー対応検討委員会委員、配食先学校長、金成地区行政長の方々は７月１２日でございます。それから、一般市民の方々ということで給食を配食する学校の地区の皆様は７月１７日の日程で内覧会を開催する予定としております。

次に、１３ページをご覧ください。平成２８年度小学生英語活動「英語でチャレンジ」です。例年開催しているものですが、小学校の英語活動の充実を図るということで、夏季休業中の英語に親しむ行事です。小学校３年生から５年生を対象として、８月２日に、志波姫のこの花さくや姫プラザでALTとの交流を中心としながら、英語に慣れ親しむといったような活動を行うものでございます。定員につきましては、３０名を予定しています。

次に、１５ページをご覧ください。こちら、小学校の英語活動で、英語でキャンプについてでございます。こちらの事業につきましては小学校５年生、６年生を対象としまして、１泊２日の日程で、国立花山青少年自然の家を会場に開催します。ALTとの交流、キャンプ生活を通じまして、英語に親しみ関心をもってもらおうというような内容でございます。定員１５名を予定しています。

次に１７ページをご覧ください。平成２８年度学び支援コーディネーター等配置事業、学府

くりはら塾「夏休み学習会」です。こちらについては小学校を対象とする学習会でございます。児童生徒の夏季休業中における学習支援ということで、今年度も実施します。対象は小学校3年生から6年生の希望者ということで、8月10日から12日までの3日間、場所につきましては、教育研究センターと栗原文化会館の2か所で行う予定です。

最後に、18ページでございます。こちらは、中学生向けの学府くりはら塾でございます。この事業につきましては、宮城教育大学との連携推進事業ということで、平成20年度から実施しているものでございます。今年度も例年通り8月16日から20日までの5日間の日程で開催いたします。会場につきましては栗原市教育研究センターでございます。なお、小学校の夏休み学習会、中学校の学府くりはら塾、共に、昨年同様送迎バスを運行する予定であります。

続いて、菅原副参事が学校給食における食物アレルギー対応について説明いたします。

菅原副参事

先ほど教育長からも話がありましたが、食物アレルギー検討委員会によって二者択一の方式について承認をいただいております。8月夏休み明けから配食することとしていることから、夏休み前にアレルギー給食を提供している児童生徒の保護者の皆さんに説明を行う必要があることから、事前に教育委員の皆さんに説明し、ご了解をいただきたく、ご説明申し上げます。

資料に基づき説明させていただきます。学校給食における食物アレルギー対応が変わります。現状ですが、学校給食における食物アレルギー対応については、平成20年に公益財団法人日本学校保健会が発行した「学校におけるアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」により対応してきていましたが、平成24年12月に、食物アレルギー対応食の誤配等により、アナフィラキシーショックの疑いにより亡くなるという痛ましい事故が発生しております。このことから、平成27年3月に文部科学省から示された「学校給食における食物アレルギー対応指針」において、学校給食の安全性を最優先として、主要なアレルギー原因物質完全除去対応「提供するかしないか」を原則とする、二者択一が推奨されております。

個別対応と二者択一を比較すると、個別対応のメリットとしては、アレルギーのレベルごとに対応でき、個人ごとに原因食物を除去できます。デメリットとしては、誤配、おかわり等で事故の可能性があるということです。二者択一のメリットとしては、安全性が高い、誤配がないということ、デメリットとしては、特殊な原因食物は対応できないということがあります。アレルギーのレベルには様々なレベルがあるため、これを個々に対応すると、業務は複雑・煩雑となり、事故（誤配）の温床となります。

次に、食物アレルギー対応の食物ですが、食品衛生法に基づく表示の基準として、特定原材料7品目、特定原材料に準じるもの20品目の計27品目が指定されていますが、小麦、大豆は、多くの加工食品に使用されているため、アレルギー対応が難しい食物となり、それを除く25品目となります。この25品目以外の食物アレルギーがある場合は、その使用する素材により、家庭から代わりのおかずのみを持参することになります。

個別対応と二者択一の給食提供の違いは、こちらに記載の例のようにあります。

以上で説明を終わらせていただきます。

佐々木委員長

学校教育課関係の説明について、ご質問ございますか。

笠間委員

英語でキャンプですが、定員15名で、事情により1～2名の超過は認めるとなっていますが、それ以上希望があった場合は想定していないのですか。その場合、例えば先着順に15名にするのですか。予定外に多く来た場合はどうするのでしょうか。

学校教育課長

昨年度は18名の参加でありました。実際のところ、小学校6年生を対象にこの事業をスタートしたところでしたが、6年生の応募が大変少なく、各学校通じて、5年生まで枠を広げて

18名で実施したところでありました。逆に、英語でチャレンジのほうは、非常に人気が高くて、当初予定したよりも多くの応募がありまして、急きょALTを増やしてグループを増設して対応したところでした。

笠間委員 今年もキャンプのほうはあまり来ないだろうという予想ですか。

高橋副参事 昨日締切でしたが、今のところキャンプのほうは10名弱というところかと思います。確認してみたいと思います。チャレンジは恐らく定員超えた応募かと思います。昨年度の反省として、ALT1人に対してあまり人数が多いと、英語での対応が難しくなるというところがありますので、今年は、10月にもう1回予定をしております。そのあたり、まだ流動的ですが、様子を見ながら、ある程度枠は広げられるかもしれませんが、今年はある程度調整してみたいと思っています。

笠間委員 前にもお話したんですが、どうしてもクッキングとかだと女の子のほうが多いですね。言語は男の子ちょっと遅いかなとは思いますが、もう少し男の子も楽しめるような、参加できるような、スポーツを通してとか、女の子の方が積極的とかやはり性差はあるかと思うんですが、その辺も考えられたらどうかと思いました。

高橋副参事 キャンプのほうは昨年度まで花山青少年自然の家で野外活動等取り入れていたんですが、今年度見直しをしまして、実用的な部分で英語をしっかりと身につけ、家に帰って「こんなこと覚えてきたよ」と言えるようにということで、自己紹介とか、感想をまとめるというようなところをやっていきたいと思っています。

笠間委員 ぱっとしゃべれるというのを持っているのはすごく大切だと思います。それが自信につながると思っていますので、いいことだと思います。ところで、「インタラック」はどこにある会社ですか。

学校教育課長 東京に本社がございました。現在、地域に密着した形でやりたいということで、東日本インタラック株式会社、西日本インタラック株式会社ということで、それぞれ事業所を設けて展開しているところでありまして、ALTの業務委託では1番のシェアを持っている業者でございます。外国人の募集から日常生活のケア、研修といった面まで細かくやっておりますし、委託業務ということで、労働者派遣等もしっかりとしたところです。継続してお願いしている業者です。

笠間委員 これは小学生に対する行事ですが、中学に入ってもっと英語を勉強するので、インプットは小学校で入ってくるので、特に田舎の子はアウトプット、それを使う機会がないので、なかなか身に付かないんじゃないかと思います。通じたというおもしろさ、そういうのが喜びになったらもっと勉強しようと思うんじゃないでしょうか。ですから、中学生のほうにも、こういう機会を是非作ってもらえたらと思います。もっと日常会話が出来ようになってくるんじゃないかと思います。

学校教育課長 小学校の英語活動の段階では英語が楽しいという子どもが多い、ただ、中学校に行くと文字にふれたり筆記が出てくるとそこから嫌いになるというような統計があったのを見ました。やはり、小学校と中学校、音で聴いたりしゃべったりということで楽しさを感じているようですので、青空大使もその一環の事業かと思うんですが、定員20人ということでありますので、学校の中での時数を確保できるかそういったことを校長会等で話してみたいと思います。

白鳥委員 給食の関係ですが、アレルギーを持った子どもたちは市内で何人位いるのかと、今までどのような形で提供してたのか教えてください。

菅原副参事 人数は78人です。各給食センター別だと、南部が27人、若柳で20人、一迫で2

2人合計で69人となっており、自校給食校、幼稚園含めると78人です。これまでは、個別に対応をしております。

- 白鳥委員 今回、市内の提供は二者択一にするということですか。
- 菅原副参事 今回の教育委員会の方針としては二者択一として安全な給食を提供するというございます。
- 亀井教育長 これは、なかなか難しい問題でありまして、文科省では先ほど説明した通り、とにかく給食の提供は安全第一であるということで、これまでは個別対応をしてきたけれど文科省で方針を変えて、二者択一が一番安全な給食提供が出来ますという方針に変わりました。それを受けて栗原市でも栄養士等交えて検討したところでもあります。そういう形でいいかどうか、これは、様々な問題があります。例えば、Aさんは「卵」、Bさんは「乳」、Cさんは「えび」の場合、センターで給食を作る際はこの3つを全部抜いた給食を提供していくわけです。そして、A定食は普通の子に、B定食はアレルギー原因物質を抜いた形になるわけです。日によってはA定食になることもあります。そういう形の提供になります。問題になるのは例えば南部学校給食センターでは27人のアレルギーの子どもがいる、そのアレルギーが全部違うと、全部抜かれたおかずになってしまうということになるわけです。5人しかいなければ5人分のアレルギーを抜いた定食を提供するという形になります。そういう問題も出てきます。その辺を今考えながら進めているところですが、今、アレルギー対応検討委員会を作っておりまして、その中にはアレルギーを持つ保護者3名入っております。これまで2回開催していますが、今後につきましては78人いるわけですから、その保護者の理解を得られないと難しいだろうという考えもあります。そこで、栄養士と当課の担当者が面談をすることによってその辺の説明をし、ご理解をいただいて、そして、給食センター運営審議会にかけて、了解が得られれば、7月20日に教育委員会で了解を得て、8月夏休み明けの給食から提供という運びになります。反対が多いことも予想されないわけではないので、まだ決定ではないということをご理解いただきたいと思います。ただ、私たちとしては、命に関わることですので、「安全」ということを優先に、ご理解を得ながらその方向で進めていきたいと考えております。
- 笠間委員 もし、親御さんが、「うちの子1個なのに何個もアレルギー抜かれるのいやだ」という時はお弁当という形ですか。
- 亀井教育長 ご協力いただくということしかないでしょうね。
- 白鳥委員 アレルギーを抜いたメニューというのもそれなりにおいしく食べられるメニューですか。栄養士さんは頭を悩ますと思いますが。
- 菅原副参事 各給食センターごとに、その日その日の献立の中でアレルギー食を考えていきますので、栄養士がバランスを考えておいしいものを作ってくれと信じています。
- 笠間委員 アレルギーの保護者の方が、普通の給食と、アレルギー全部抜いた給食を食べ比べて、おいしいと思えば、理解してもらえないんじゃないでしょうか。実際食べてみれば、説得力は逆にあるんじゃないでしょうか。
- 学校教育課長 貴重なご意見ということで承ります。実際現場の栄養士と学校教育課の職員が保護者の方に説明するわけですが、25品目の中で代表的なアレルギーを抜いたメニューの試食できるもの作成が可能かどうか現場のほうとも協議してみたいと思います。
- 佐々木委員長 では、次に社会教育課長。
- 社会教育課長 資料の19ページをご覧ください。2016リオオリンピックに栗原市出身選手2名が出場します。簡単に説明いたします。女子ホッケー日本代表三橋亜記選手でございます。築館出身

で、現在はコカ・コーラウェストレッドスパークスに所属しております。年齢は26歳です。ロンドンオリンピックにも出場しておりますが、今回は8月6日から決勝まで進めば19日までになります。市長表敬訪問については7月6日午後3時15分頃、6日に来て7日に帰る強行スケジュールであります。7月6日に、ホッケー協会主催で栗原文化会館において午後6時から壮行会を開催します。入場無料で誰でも参加できる形にしたいということでありますので、皆様も是非ご出席いただければと思います。

続いて、25mラピッドファイアピストル日本代表ということで秋山輝吉選手でございます。栗駒出身で、現在は宮城県警に所属しております。44歳でございます。壮行会につきましては組織が地元でないということから6月4日に同級生が中心となり行ったということでございます。大会期日は8月12日から13日、市長表敬訪問は7月4日午後3時を予定しております。

次に、20ページをご覧ください。小学生陸上交流大会選考会の結果でございます。先日の日曜日、6月26日に県大会が行われまして、そのうち、女子6年生100mの瀬川さん、女子5・6年生共通80mハードルの佐藤さん、男子5・6年生80mハードルの千葉さん、男子5・6年生共通4×100mリレーの瀬峰小学校チームが県でも1位になり、全国大会出場となりました。その他、正式にはまだ順位が未確定のものがあるようですが、半分くらいが8位以内に入ったそうです。なお、全国大会は8月20日土曜日、横浜市の日産スタジアムで行われるということであります。

次に、21ページをご覧ください。小学校1年生から4年生芸術鑑賞会であります。日時については7月6日、7日、人形劇アニメ映画であります。記載のような日程で開催いたします。

次に、22ページをご覧ください。豊田合成トレフェルサバレーボール教室であります。7月10日に開催します。募集定員は小・中学校各100名程度になっていますが、全体で158名の出席ということになりましたことから、午前の部、午後の部分けての開催となります。午前の部は9時30分から12時まで、午後の部は午後1時から午後3時30分までという形で開催する予定であります。場所については、若柳総合体育館でございます。トレフェルサの選手については3名、コーチが2名、代表の方が1名ということで、5名から6名の予定であります。

次に、23ページをご覧ください。第24回くりこま高原高等学校陸上選手権大会であります。開催日時は7月23日の土曜日と24日の日曜日、51校で885名の参加ということで、学校数にして2校がプラスになりまして、選手数は約30名プラスになりました。

次に、24ページをご覧ください。あきる野市・栗原市友好親善交流会でございます。今回はあきる野市からこちらに来るということで、8月3日から5日までの3日間で行います。あきる野市からは6校から関係者含め合計41名がいらっしゃいます。栗原の参加校については、生徒会交流は全ての学校、部活動交流は築中卓球部でございます。交流会の日程は、8月3日午後1時15分から栗原文化会館で歓迎式、さらにその日の6時30分から歓迎レセプション、委員さん方にご案内を差し上げていますのでよろしく願いいたします。8月4日に交流会を行いまして、8月5日、11時30分からお別れ会、これにつきましてもご案内を差し上げておりましたので、よろしく願いいたします。

次のページは宮城水彩展です。7月8日から17日まで栗原文化会館で行われますので、是非ご鑑賞ください。

次のページは仙台フィルハーモニー管弦楽団特別演奏会で、栗原については8月28日、日

曜日、午後2時30分から栗原文化会館で開催されます。

次のページは、第18回白鳥省吾賞「詩」募集が7月1日から10月31日までの募集期間で始まります。

以上で社会教育課からの報告を終わります。

佐々木委員長 只今の説明についてご質問はございますか。

「なし」の声あり

(2) その他

佐々木委員長 各課報告が終わりました。その他に入ります。教育総務課長。

教育総務課長 6月1日の総合教育会議の際に、点検評価につきまして委員の皆さんからご意見をいただきました。そのご意見をもとに、部内で協議し修正させていただいたものであります。内容につきましては、1枚目が平成27年度の点検評価の中で、文部科学省となっていたものを宮城県教育委員会に訂正したものであります。2枚目の資料につきましては、28年度の点検評価につきまして目標値を設定する際に、設定なっていない分について新たに目標の数値を追加したものがありません。また、学校数を記載したものについては分母となる学校が表記されておらなかったため、その表記をさせていただいたところがあるということと、QU調査における満足度群だけでなく、要支援群等の人数の割合も含めた目標設定をさせていただきました。個票につきましては、学校ICT環境推進事業の目的が不適切でないかというご指摘がありましたので、改めさせていただいたものであります。平成27年度につきましては、今回の訂正を受けまして、今後委員会といたしまして学識経験者のご意見をいただくために、専門の先生に相談させていただきたいと思っております。平成28年度につきましては、今回訂正した目標値の達成に向けて今後の事業を進めてまいりたいと思っております。このことについてご了承いただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

佐々木委員長 説明が終わりました。ご質問ございますか。

「なし」の声あり

佐々木委員長 それでは、以上で各課報告及びその他を終了いたします。

16. 閉会

教育総務課長 以上をもちまして、平成28年第6回栗原市教育委員会定例会を閉会致します。

午後3時15分

17. 本委員会の議決の次第は次のとおりである。

議案第42号 栗原市就学指導委員会委員の人事について

議案第43号 栗原市学校給食センター運営審議会委員の人事について

議案第44号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

議案第45号 栗原市立学校の職員の人事について

この会議録は書記が作成したものであるが、その内容の正確なることを証するためここに署名する。

平成28年7月20日

会議録署名委員 _____

〃 _____